

講座の概要（各回ごと A4 用紙 1 枚にまとめること）

- 1 大学連携講座の名称：静岡建築茶会2018 | 建築環境デザインを科学する！～光・温熱・気流とかたちの関係～ 第1煎
- 2 主担当大学及び所属：静岡理工科大学
- 3 連携先大学及び所属：静岡文化芸術大学
- 4 開催日時：10月14日（日）13時30分～17時30分
- 5 開催場所：静岡文化芸術大学
- 6 参加者数： 15 人（一般 12 人、大学生 3 人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

登壇者として、中川純（レビ設計室 / 早稲田大学田辺新一研究室）、谷口景一郎（東京大学建築学専攻特任助教）、盧炫佑（OMソーラー株式会社）を向かえ、第一部を各氏の講演、お茶会を挟んで、第二部を登壇者3名に加え、モデレーターとして脇坂、亀井、天内の2大学3名の教員が加わり、ディスカッションを行った。

中川氏からは、「建築=技術（構造×環境）×計画×設計」という思想と共に、「箱の家ではない」「GPLの家」「15Aの家」「微気候の家」の設計コンセプトが説明された。温熱環境の快適性に関して、PMV（Predicted Mean Vote / 予測温冷感申告）への批判と共に、人間の違い、時間の違い、環境の偏在の重要性が説かれた。

谷口氏は、「環境設計の最先端」と題して、「ラゾーナ川崎東芝ビル」「小学館ビル」「横浜商科大学 開学 50 周年記念館」の設計を通した CFD 解析による環境シミュレーションの説明をされ、環境建築の開く技術としての第一世代、閉じる技術としての第二世代に対して、開／閉をどう両立させるかが第三世代に求められると解いた。

盧氏は、「春野協働センター（旧春野地域自治センター）」における「空気集熱式ソーラー除湿涼房システム」、太陽熱・廃熱利用冷暖房換気給湯システムである OMX、について、実証実験の結果とともに説明があった。

ディスカッションでは、環境シミュレーションに関して、初期段階のラフなシミュレーション、ディテールが決まった段階での精緻なシミュレーション、3DCAD とソフトの連動、ディテールの重要性、遠州地域の特徴としての風の可能性、実測における絶対値の追求に関して議論が行われた。さらに、来場者からの質疑応答に答えた。



※講演内容の要旨（A4 で 2～5 枚）、広報チラシ、当日プログラム等の配布資料、講座写真データ、詳細資料は、別に添付すること。

建築環境デザインを科学する！

～ 光・温熱・気流とかたちの関係～

光や熱や気流は、建築空間においてわれわれの活動を生産的にも非生産的にもする重要な環境要素です。しかし、これらの要素は空間の位置によって異なる上、その状況は刻々と変化するために制御が困難でした。近年、コンピュータや機器の廉価、小型化によって、そうした要素の状態を予測することが個人レベルでも可能になってきました。そこで、本シンポジウムでは、シミュレーションや実測を通して、設計や研究における実践を行うリーディングパーソンをお呼びして、議論していきます。そして、平均気温が高く、日照時間が長く、比較的強い季節風が吹く静岡県の地域的な気候条件を活かした「環境オリエンテッドな建築デザイン手法」を見出しに行きたいと思えます。

第一煎

2018.10.14.sun

13:00 受付開始

>>LECTURER

レビ設計室 /
早稲田大学田辺新一研究室

OMソーラー株式会社

東京大学建築学専攻特任助教

中川純 × 盧炫佑 × 谷口景一郎

>>VENUE

静岡文化芸術大学 2階280中講義室

>>MODERATOR

脇坂圭一/天内大樹/亀井暁子

PROJECT MEMBERS

静岡文化芸術大学 | 安江朱音(デザイン学科3年)ほか
静岡理工科大学 | 清水萌衣(1年)/山本弓貴(1年)ほか

参加お申し込み・お問い合わせ

定員は各回**70名**(先着順・無料)です。**10/6(金)**までに下記メールアドレスへお申し込みください。その際、お名前・ご住所・ご所属・人数・意見交換会(実費、4500円程度)への参加の有無をお知らせください。

teabreak.shizuoka@gmail.com

※CPDプログラム認定申請予定

各回定員
70名

[後援] 浜松市/磐田市/袋井市/掛川市/静岡市/(一社)グリーンビルディングジャパン/静岡県インテリアプランナー協会/(一社)静岡県建設業協会/(公社)静岡県建築士会/(一社)静岡県建築士事務所協会/(公社)日本建築家協会東海支部静岡地域会/(一社)日本建築学会東海支部静岡支所/(一社)日本ツーバイフォー建築協会静岡支部/(一社)袋井建設業協会/(株)アドバンスドナレッジ研究所/アーキテツ・スタジオ・ジャパン(株)/(株)建築資料研究社/日建学院/静鉄ホームズ(株)/総合資格学院/(株)マブチ工業

<https://www.sist.ac.jp/architecture/teaparty/>

>>TIME TABLE

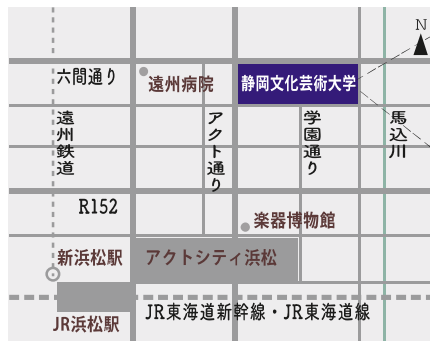
第一部 LECTURE

- 13:00 受付開始
- 13:20 ご挨拶・趣旨説明
- 13:30 中川 純さん講演
- 14:15 谷口景一朗さん講演
- 15:00 盧 炫佑さん講演
- 15:40 お茶会

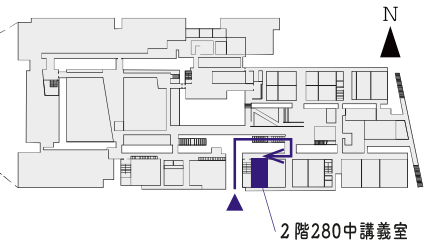
第二部 DISCUSSION

- 16:00 ディスカッション+Q&A
- 17:20 終了
- 17:40 意見交換会

>>MAP



※JR浜松駅より徒歩15分。駐車場はありませんので公共交通機関でお越し下さい。



〒430-8533
静岡県浜松市中区中央二丁目1番1号
Tel.053-457-6111

>>LECTURER



中川 純 (なかがわ じゅん)

2003年早稲田大学理工学部建築学科卒業。2003-2006年難波和彦・界工作舎、2006年レビ設計室設立、2017年中川純+池原靖史設計室設立。現在、早稲田大学大学院博士後期課程(田邊新一研究室)、武蔵野美術大学他非常勤講師。主な著書に『ゼロ・エネルギーハウス』、主な仕事に《微気候の家》、《エネマネハウス2017》。2009年グッドデザイン賞、2010年TEPCO快適住宅コンテスト入選、2013・2018年SDレビュー入選、2016年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展特別表彰、2017年日本建築学会作品選集新人賞、エネマネハウス優秀賞。



盧 炫佑 (の・ひょんう)

OMソーラー株式会社取締役技術部長。博士(工学)。1993年釜山水産大学校冷凍工学科卒業。1999年工学院大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程修了(国費留学生)。2006年工学院大学宇田川研究室研究員などを経て、OM計画株式会社(OMソーラー)に入社。2008年技術部長。2012年取締役。建築環境工学専門。快適な室内温熱環境と省エネの両立を追求した、OMソーラーシステム全般の技術研究開発を担う。一般社団法人日本太陽エネルギー学会理事。



谷口景一朗 (たにぐちけいいちろう)

建築家、建築環境デザイナー。東京大学工学系研究科建築学専攻修了。2009~2016年日建設計。2016年東京大学工学系研究科建築学専攻特任助教に着任するとともに、合同会社スタジオノラを共同主宰。環境シミュレーションを活用した建築デザインを手掛ける。主な担当作に<<ラゾーナ川崎東芝ビル>>(2013)<<小学館ビル>>(2016)<<荒川ビル>>(2018)など。共編著書に「最高の環境建築をつくる方法」。



△GPLの家



△微気候の家



△春野協働センター



△ラゾーナ川崎東芝ビル

>>MODERATOR



脇坂圭一 1971年北海道生まれ。東北大学工学部建築学科卒業。建築設計事務所勤務。オフィス建築大学留学(デンマーク政府奨学金)。JDS architects。東北大学大学院博士課程修了。脇坂圭一アーキテクツ設立(ヒュッグ・デザイン・ラボに改組)。2011-16年名古屋大学施設計画推進室准教授。2016年静岡理工科大学建築学科設置準備室(現・建築学科)教授。



天内大樹 1980年東京都生まれ。東京大学文学部卒業、同大学大学院人文社会系研究科博士課程退学。博士(文学)、美学芸術学/建築思想史。2008年日本学術振興会特別研究員、2011年東京大学教務補佐員、2012年東京理科大学PD研究員、2014年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科フィロソフィー領域、准教授。

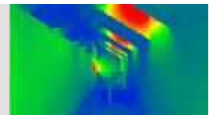


亀井暁子 1971年大阪府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了。1996-2013年株式会社日本設計、2002-03年パリ建築学校ラ・ヴィレット校留学。2013年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科建築・環境領域、准教授。スタジオRICCA一級建築士事務所代表。

>>SCHEDULE

第一煎

光編@静岡文化芸術大学
10/14.sun



照度解析の例 (参照:<https://www.velux.com>) ↑

第二煎

温熱編@静岡理工科大学 | 11/25.sun

[建築家]

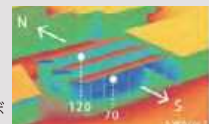
小泉雅生氏 首都大東京教授
有限会社 小泉アトリエ

[環境系研究者]

富樫英介氏 工学院大学准教授

[企業]

重村珠穂氏 アリゴリズムデザインラボ



熱解析の例 (参照:<http://www.akl.co.jp>) ↑

第三煎

気流編@会場選定中 | 12/22.sat or 23.sun

[建築家]

川島範久氏 川島範久建築設計事務所/
東京工業大学大学院助教

[環境系研究者]

秋元孝之氏 芝浦工業大学建築学部建築
学科・教授

[企業]

清野新氏 アラップジャパン



気流解析の例 (参照「SK+」) ↑

[主催]公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム [企画・運営]静岡理工科大学・静岡文化芸術大学・静岡建築家会

講座の概要（各回ごと A4 用紙 1 枚にまとめること）

- 1 大学連携講座の名称：静岡建築茶会 2018 | 建築環境デザインを科学する！～光・温熱・気流とかたちの関係～ 第2煎
- 2 主担当大学及び所属：静岡理工科大学
- 3 連携先大学及び所属：静岡文化芸術大学
- 4 開催日時：11月25日（日）13時30分～17時30分
- 5 開催場所：袋井：静岡理工科大学
- 6 参加者数： 55 人（一般 12 人、大学生 43 人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

登壇者として、小泉雅生（首都大東京教授 / 有限会社 小泉アトリエ）、富樫英介（工学院大学准教授）、重村珠穂（アルゴリズムデザインラボ）を向かえ、第一部を各氏の講演、お茶会を挟んで、第二部を登壇者3名に加え、モデレーターとして脇坂、亀井の2大学2名の教員が加わり、ディスカッションを行った。

小泉氏は、「フィジックスデザイン」と題して、環境工学のパイオニアとして「聴竹居」を設計した藤井厚二から話を始め、「ハウスジャパン中間実証棟」「LCCM 住宅デモンストレーション棟」「アシタノイエ」「エネマネハウス」といった実作における環境とデザインの関係について解説すると共に、著書の『住宅設計と環境デザイン』で取り上げたフィードバックを通じた環境デザイン手法について解説を行った。

富樫氏は、「設備/人間/環境」と題して、『計画原論』を起こした研究者の渡辺要から話し始め、一方の機械分野の「設備工学」が徐々に環境工学と近づいていく状況、occupant behavior model を元にした人間行動と建築設備の制御の応用可能性について、「快」と「適」の違いとして「適」の水準と時間概念の関係について説いた。

重村氏は、「コンピューテーション技術を利用した環境設計」と題して、慶應義塾大学、MIT、ハーバードといった経歴の中で、Revit、Rhinoceros、DIVA、Grasshopper、Processing を駆使しながら、Radiance、EnergyPlus を用いた光/熱環境解析、Ladybug+Honeybee を用いた気象データの分析、室内外の気流解析、sunPATH を用いた季節、時間による日射、影の把握、Radiation Maps による外装壁面が拡散する日射熱量の把握を行ったデザイン事例を示した。

ディスカッションでは、吉村順三作品に見られる環境や設備の考え方、シミュレーションにおける「概ね」、数値化の罫、意匠と設備でプロセスを共有する重要性、制度基準について話がおよぶと共に、理工科大の田井准教授、長尾准教授他、来場者からの質疑応答が活発に行われた。

※講演内容の要旨（A4 で2～5枚）、広報チラシ、当日プログラム等の配布資料、講座写真データ、詳細資料は、別に添付すること。



建築環境デザインを科学する！

～ 光・温熱・気流と私たちの関係～

光や熱や気流は、建築空間においてわれわれの活動を生産的にも非生産的にもする重要な環境要素です。しかし、これらの要素は空間の位置によって異なる上、その状況は刻々と変化するために制御が困難でした。近年、コンピュータや機器の廉価、小型化によって、そうした要素の状態を予測することが個人レベルでも可能になってきました。そこで、本シンポジウムでは、シミュレーションや実測を通して、設計や研究における実践を行うリーディングパーソンをお呼びして、議論していきます。そして、平均気温が高く、日照時間が長く、比較的強い季節風が吹く静岡県の地域的な気候条件を活かした「環境オリエンテッドな建築デザイン手法」を見出しに行きたいと思えます。

第二煎

2018.11.25.sun

13:00 受付開始

>>LECTURER

首都大東京教授 /
有限会社 小泉アトリエ

工学院大学准教授

アルゴリズムデザインラボ

小泉 雅生 × 富樫 英介 × 重村 珠穂

>>VENUE

静岡理工科大学 建築学科棟
えんつりー 1階 講評室

entree

>>MODERATOR

脇坂圭一/天内大樹/亀井暁子

PROJECT MEMBERS

[静岡文化芸術大学]安江朱音(デザイン学科3年)ほか
[静岡理工科大学]清水萌衣・山本弓貴・山下沙奈・鈴木明子・鈴木結梨・鈴木葉大(建築学科1年)

[後援]浜松市/磐田市/袋井市/掛川市/静岡市/(一社)グリーンビルディングジャパン/静岡県インテリアプランナー協会/(一社)静岡県建設業協会/(公社)静岡県建築士会/(一社)静岡県建築士事務所協会/(公社)日本建築家協会東海支部静岡地域会/(一社)日本建築学会東海支部静岡支所/(一社)日本ツーバイフォー建築協会静岡支部/(一社)袋井建設業協会/(株)アドバンスドナレッジ研究所/アーキテツ・スタジオ・ジャパン(株)/(株)建築資料研究社/日建学院/静鉄ホームズ(株)/総合資格学院/(株)マブチ工業

参加お申し込み・お問い合わせ

定員は各回70名(先着順・無料)です。11/16(金)までに下記メールアドレスへお申し込みください。その際、お名前・ご住所・ご所属・人数・意見交換会(実費)への参加の有無をお知らせください。

teabreak.shizuoka@gmail.com

※CPDプログラム認定申請中

各回定員
70名<https://www.sist.ac.jp/architecture/teaparty/>

>>TIME TABLE

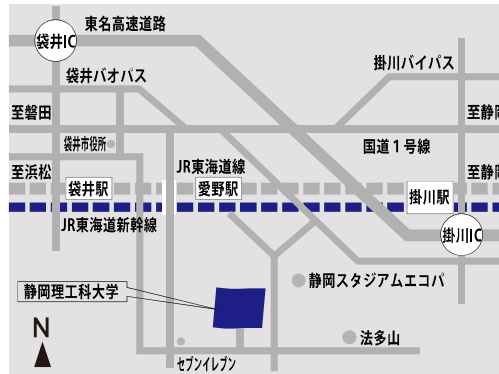
第一部 LECTURE

- 13:00 受付開始
- 13:20 ご挨拶・趣旨説明
- 13:30 小泉雅生さん講演
- 14:15 富樫英介さん講演
- 15:00 重村 珠穂さん講演
- 15:40 お茶会

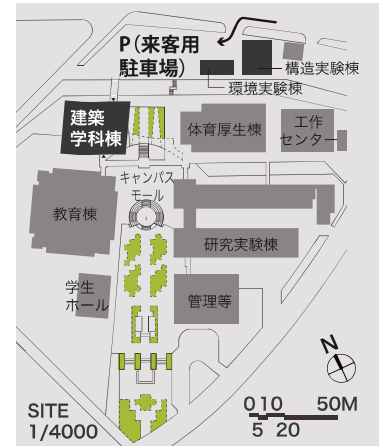
第二部 DISCUSSION

- 16:00 ディスカッション+Q&A
- 17:20 終了
- 17:40 意見交換会

>>MAP



〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 Tel.0538-45-0111 ※JR掛川駅(12:50頃発)・愛野駅(13:00頃発)～大学間の送迎バスを準備しています。帰りは、終了後大学発予定です。



>>LECTURER



小泉雅生 (こいずみ まさお)

1963年生まれ、1986年東京大学大学院在学中にシーラカンスを共同設立、2001年東京都立大学大学院(現:首都大学東京)助教授、2005年小泉アトリエ設立、2010年～首都大学東京大学院教授。主な作品に「アシタノイエ」(サステナブル住宅賞国土交通大臣賞)、「象の鼻パーク/テラス」(環境・設備デザイン賞最優秀賞)、「LCCM住宅デモンストレーション棟」など。主な著書に『環境のイエ』(2010)、『LCCM住宅の設計手法:デモンストレーション棟を事例として』(2012)、『住宅設計と環境デザイン』(2015)など。



富樫英介 (とがし えいすけ)

1980年生まれ、2004年早稲田大学理工学部建築学科卒業、2008年早稲田大学博士課程修了、博士(工学)。2009年～2015年株式会社日建設、2015年より工学院大学建築学部建築学科准教授、現在に至る。専門は室内温熱環境と熱源空調システムのシミュレーション。著書に『建築熱環境戯法』(2016)。近年の研究内容は、建築の省エネ性と不動産価値、人間行動と照明制御、バーチャル建築の最適化コンテスト、など。

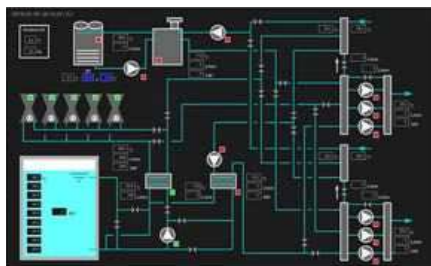


重村 珠穂 (しげむら たまほ)

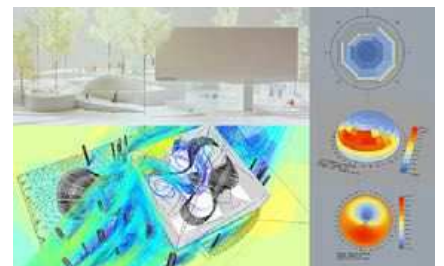
2000年慶應義塾大学大学院修了、大林組にて現場監督、MIT留学。2010年ハーバード大学大学院建築学科修士課程修了。BIMや環境シミュレーションなどの研究に従事、2013年大成建設(BIM支援業務)、2014年～早稲田大学非常勤講師(デジタル環境シミュレーションを用いた設計手法)、2012年Algorithm Design Lab.設立。訳書に『アルゴリズムック・アーキテクチャ』(2010)。Autodesk Revit認定インストラクター。DIVA4Rhino日本代理店。



△LCCM住宅デモンストレーション棟



△バーチャル建築の熱源システム操作インターフェース



△ベネチアピエンナーレ日本館環境解析

>>MODERATOR



脇坂圭一 1971年北海道生まれ。東北大学工学部建築学科卒業。建築設計事務所勤務。オース建築大学留学(デンマーク政府奨学金)。JDS architects、東北大学大学院博士課程修了。脇坂圭一アーキテクト設立(ヒュッゲ・デザイン・ラボに改組)。2011-16年名古屋大学施設計画推進室准教授。2016年静岡理科大学建築学科設置準備室(現・建築学科)教授。



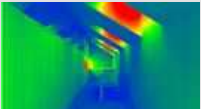
天内大樹 1980年東京都生まれ。東京大学文学部卒業、同大学大学院人文社会系研究科博士課程退学。博士(文学)、美学芸術学/建築思想史。2008年日本学術振興会特別研究員、2011年東京大学教務補佐員、2012年東京理科大学P.D.研究員、2014年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科フィロソフィー領域、准教授。



亀井暁子 1971年大阪府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了。1996-2013年株式会社日本設計、2002-03年パリ建築学校ラ・ヴィレット校留学。2013年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科建築・環境領域、准教授。スタジオ RICCA 一級建築士事務所代表。

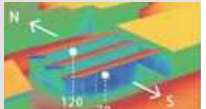
>>SCHEDULE

第一煎 光編@静岡文化芸術大学 | 10/14.sun(開催済)

[建築家] 中川 純	レビ設計室/早稲田大学田辺新一研究室	
[環境系研究者] 谷口景一郎	東京大学特任助教	
[企業] 盧 炫佑	OMソーラー株式会社	


照度解析の例 (参照:<https://www.velux.com>) ↑

第二煎 温熱編@静岡理科大学 | 11/25.sun

[建築家]	小泉雅生氏	首都大東京教授 有限会社 小泉アトリエ	
[環境系研究者]	富樫英介氏	工学院大学准教授	
[企業]	重村珠穂氏	アルゴリズムデザインラボ	

熱解析の例 (参照:<http://www.akl.co.jp>) ↑

第三煎 気流編@静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター | 12/16.sun

[建築家]	川島範久氏	川島範久建築設計事務所/ 東京工業大学大学院助教	
[環境系研究者]	秋元孝之氏	芝浦工業大学建築学部建築 学科・教授	
[企業]	清野新氏	アラップジャパン	

気流解析の例 (参照「SK+」) ↑

[主催]公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム [企画・運営]静岡理科大学・静岡文化芸術大学・静岡建築家会

講座の概要（各回ごと A4 用紙 1 枚にまとめること）

- 1 大学連携講座の名称：静岡建築茶会 2018 | 建築環境デザインを科学する！～光・温熱・気流とかたちの関係～ 第3煎
- 2 主担当大学及び所属：静岡理工科大学
- 3 連携先大学及び所属：静岡文化芸術大学
- 4 開催日時：12月16日（日）13時30分～17時30分
- 5 開催場所：静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
- 6 参加者数： 35 人（一般 8 人、大学生 27 人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

登壇者として、秋元孝之（芝浦工業大学教授）、川島範久（東京工業大学助教／川島範久建築設計事務所）、清野新（Arup）を向かえ、第一部を各氏の講演、お茶会を挟んで、第二部を登壇者3名に加え、モデレーターとして脇坂、天内の2大学2名の教員が加わり、ディスカッションを行った。

秋元氏は、CO₂排出量として、2013年比で2030年までに住宅・建築物部門で4割もの削減の必要性がある事を訴え、日本独自のラベリングであるCASBEE、省エネに特化したBELS（Building-Housing Energy-efficiency Labelling System）、WELL Building Standard、LEED（Leadership in Energy and Environmental Design）といった世界標準のラベリングとの関連を説明した。さらに、「エネマネハウス」におけるCLT、太陽光発電、太陽熱集熱パネルの導入、「母の家」における多世代ZEHの探求、早大と組んだ「この郊外の片隅に」における外壁用木製集成材、高性能断熱材の仕様と、UA値（外皮平均熱貫流率）の低減について説明すると共に、新しい空調設備としてコアンダ効果を利用したダクトレス空調が従来より65%エネルギー消費量を抑えられる事を示した。

川島氏は、「ソニーシティ大崎」、カリフォルニア大学バークレー校における経験を前段として、「Diagonal Boxes」においては空気線図よりどのパッシブ手法が相応しいのか、コンフォートゾーンに入る時間はどの程度か把握しながら、エビデンスベースに設計する手法を説いた。海外に比べ日本の基準は非常に低い事を指摘し、「一宮のノコギリ屋根」においては、冬の日射が高まることを見出し、集落や慣習的な建築形式には、時間軸に淘汰されてきた強さがあるとして、自然とつながるDelightfulな建築を標榜した。

清野氏は、「What is “Building Physics”?」と題して、世界的な企業であるArupに所属する環境設備エンジニアとして、まず『Design with Climate』という古い書籍における環境要素を活かした設計手法について触れ、「ヘルシンキ美術館プロジェクト」「台湾の美術館」「ぎふメディアコスモス」「太田市美術館・図書館」などの建築家との協働において、常に気象データとして、温度グラフ、湿度グラフ、湿り空気線図、日射量推移、太陽軌道、風のデータを分析することからプロジェクトに取り組んでいる姿勢を示した。

ディスカッションでは、コミッションング、日本における設計監理者の役割、「最適」について、シミュレーションは最終決定では無いこと、コストパフォーマンスの重要性について議論がなされ、会場からも活発な質疑が挙がった。

※講演内容の要旨（A4で2～5枚）、広報チラシ、当日プログラム等の配布資料、講座写真データ、詳細資料は、別に添付すること。



建築環境デザインを科学する！

～ 光 ・ 温 熱 ・ 気 流 と か た ち の 関 係 ～

光や熱や気流は、建築空間においてわれわれの活動を生産的にも非生産的にもする重要な環境要素です。しかし、これらの要素は空間の位置によって異なる上、その状況は刻々と変化するために制御が困難でした。近年、コンピュータや機器の廉価、小型化によって、そうした要素の状態を予測することが個人レベルでも可能になってきました。そこで、本シンポジウムでは、シミュレーションや実測を通して、設計や研究における実践を行うリーディングパーソンをお呼びして、議論していきます。そして、平均気温が高く、日照時間が長く、比較的強い季節風が吹く静岡県の地域的な気候条件を活かした「環境オリエンテッドな建築デザイン手法」を見出しに行きたいと思えます。

第三煎

2018.12.16.sun

13:00 受付開始

>>LECTURER

芝浦工業大学教授

東京工業大学助教/川島範久建築設計事務所

Arup

秋元 孝之 × 川島 範久 × 清野 新

>>VENUE

静岡市文化・クリエイティブ
産業振興センター (CCC)
2階 多目的ルーム

>>MODERATOR

脇坂圭一/天内大樹/亀井暁子

PROJECT MEMBERS

[静岡文化芸術大学]安江朱音(デザイン学科3年)ほか
[静岡理科大学]中村有里(建築学科2年)山本弓貴・山下紗奈・鈴木
明子・鈴木結梨・鈴木葉大(建築学科1年)

[後援]浜松市/磐田市/袋井市/掛川市/静岡市/(一社)グリーンビル
ディングジャパン/静岡県インテリアプランナー協会/(一社)静岡県建設
業協会/(公社)静岡県建築士会/(一社)静岡県建築士事務所協会/
(公社)日本建築家協会東海支部静岡地域会/(一社)日本建築学会東
海支部静岡支所/(一社)日本ツーバイフォー建築協会静岡支部/(一
社)袋井建設業協会/(株)アドバンスナレッジ研究所/アーキテツ・ス
タジオ・ジャパン(株)/(株)建築資料研究社/日建学院/静鉄ホームズ
(株)/総合資格学院/(株)マブチ工業

参加お申し込み・お問い合わせ

定員は各回**70名**(先着順・無料)です。**12/9(日)**までに下記メールアドレスへお申し込みください。その際、お名前・ご住所・ご所属・人数・意見交換会(実費)への参加の有無をお知らせください。

teabreak.shizuoka@gmail.com

※CPDプログラム認定申請中



各回定員
70名

<https://www.sist.ac.jp/architecture/teaparty/>

>>TIME TABLE

第一部 LECTURE

- 13:00 受付開始
- 13:20 ご挨拶・趣旨説明
- 13:30 秋元 孝之さんご講演
- 14:15 川島 範久さんご講演
- 15:00 清野 新さんご講演
- 15:40 お茶会

第二部 DISCUSSION

- 16:00 ディスカッション+Q&A
- 17:20 終了
- 17:40 意見交換会

>>MAP



〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 (JR静岡駅より徒歩約14分)
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター (CCC) 2階多目的ルーム

>>LECTURER



秋元 孝之 (あきもと たかし)
1963年生まれ。1988年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了。

カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所に留学。清水建設株式会社、関東学院大学工学部建築学科を経て、芝浦工業大学建築学部建築学科教授。専門分野は建築設備、特に空気調和設備および熱環境・空気環境。著書 | 「最新 建築設備工学」(井上書院)、「サステナブルハウジング」(東洋経済新報社)等。2017年日本建築学会賞(論文)。



川島 範久 (かわしまのりひさ)
1982年生まれ。2005年東京大学卒業。2007年同大学大学院修士課程修了後、日建設計勤務。2012年カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。2014年ARTENVARCH共同設立。2016年東京大学大学院博士課程修了。2017年川島範久建築設計事務所設立。現在、東京工業大学助教。作品 | 2014年日本建築学会賞《ソニーシティ大崎》、2016年サステナブル住宅賞《Diagonal Boxes》等。

了後、日建設計勤務。2012年カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。2014年ARTENVARCH共同設立。2016年東京大学大学院博士課程修了。2017年川島範久建築設計事務所設立。現在、東京工業大学助教。作品 | 2014年日本建築学会賞《ソニーシティ大崎》、2016年サステナブル住宅賞《Diagonal Boxes》等。



清野 新 (きよのあらた)
1989年生まれ。2014年東京大学大学院修了。同年よりArup東京事務所勤務。美術館、図書館、スタジアム、ホテル、研究所、オフィス、住宅等の環境設備設計を担当。設計業務と並行して、環境コンサルティング業務や解析・設計自動化ツールの開発に従事。著書 | 「新建築2013年4月臨時増刊SK+01ル・コルビュジェの住宅と風のかたち」(新建築社)等。

美術館、図書館、スタジアム、ホテル、研究所、オフィス、住宅等の環境設備設計を担当。設計業務と並行して、環境コンサルティング業務や解析・設計自動化ツールの開発に従事。著書 | 「新建築2013年4月臨時増刊SK+01ル・コルビュジェの住宅と風のかたち」(新建築社)等。



△エネマネハウス2015「継ぎの住処」



△一宮のノコギリ屋根



△太田市美術館・図書館

>>MODERATOR



脇坂 圭一 1971年北海道生まれ。東北大学工学部建築学科卒業。建築設計事務所勤務。オース建築大学留学(デンマーク政府奨学金)。JDS architects。東北大学大学院博士課程修了。脇坂圭一アーキテクト設立(ヒュッゲ・デザイン・ラボに改組)。2011-16年名古屋大学施設計画推進室准教授。2016年静岡理工科大学建築学科設置準備室(現・建築学科)教授。



天内 大樹 1980年東京都生まれ。東京大学文学部卒業、同大学大学院人文社会系研究科博士課程退学。博士(文学)、美学芸術学/建築思想史。2008年日本学術振興会特別研究員、2011年東京大学教務補佐員、2012年東京理科大学P D研究員、2014年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科フィロソフィー領域、准教授。

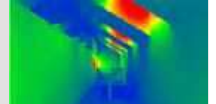


亀井 暁子 1971年大阪府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了。1996-2013年 株式会社日本設計、2002-03年パリ建築学校ラ・ヴィレット校留学。2013年より静岡文化芸術大学。現在、同大学デザイン学部デザイン学科建築・環境領域、准教授。スタジオ RICCA 一級建築士事務所代表。

>>SCHEDULE

第一煎 光編@静岡文化芸術大学 | 10/14.sun(開催済)

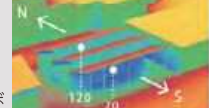
- [建築家] 中川 純 レビ設計室/早稲田大学田辺新一研究室
- [環境系研究者] 谷口景一郎 東京大学特任助教
- [企業] 盧 炫佑 OMソーラー株式会社



照度解析の例 (参照:<https://www.velux.com>) ↑

第二煎 温熱編@静岡理工科大学 | 11/25.sun(開催済)

- [建築家] 小泉雅生氏 首都大東京教授 有限会社 小泉アトリエ
- [環境系研究者] 富樫英介氏 工学院大学准教授
- [企業] 重村珠穂氏 アリゴリズムデザインラボ



熱解析の例 (参照:<http://www.akl.co.jp>) ↑

第三煎 気流編@静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター | 12/16.sun

- [建築家] 川島範久氏 川島範久建築設計事務所/東京工業大学助教
- [環境系研究者] 秋元孝之氏 芝浦工業大学建築学部建築学科・教授
- [企業] 清野新氏 Arup



気流解析の例 (参照「SK+」) ↑

[主催]公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム [企画・運営]静岡理工科大学・静岡文化芸術大学・静岡建築学会